

平成28年度予算の概要

学校法人 神戸薬科大学

平成28年度予算は、平成27年12月18日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱に基づき編成したが、本年度も前年度に続き、「キャンパス整備計画」に係る事業推進に予算を重点配分した。

資金収入については、学生生徒等納付金収入は、学部の授業料を前年度と同額の年間1,800千円とし、入学予定者数を270人として積算した。手数料収入は、学部入学検定料他で前年度と同額とした。寄付金収入は、奨学寄付金を中心に前年度と同額とした。補助金収入は、経常費国庫補助金、学術研究振興資金他を計上した。付随事業・収益事業収入は、補助活動収入（寮費）と受託事業収入で前年度と同額とした。受取利息・配当金収入は、運用利回りの低下を見込み、前年度比減額とした。その他の収入は、新8号館建築費へ充当のため、第2号基本金引当資金、減価償却引当資金からの繰入分他を計上した。

資金支出については、人件費は、教育研究の充実を図るため新たな教育研究支援職員制度を新設することに伴う予算措置を行った。教育研究経費支出は、経常の研究室配分研究費を中心に、長期実務実習関係費、共用試験関係費、動物実験施設運営委託費他で教育研究体制の充実を図るための計上を行った。管理経費支出は、経常経費の節減に努め、前年度比減額とした。施設関係支出は、「キャンパス整備計画」の一環としての新8号館建築、ききょう記念ホール天井改修や連携事業推進のための地域連携住吉サテライトセンター建築他、設備関係支出は、5号館設備備品更新、SPF実験動物飼育設備、関係委員会選定の研究用機器や実習用機器の購入費他を計上した。資産運用支出は、今後の「キャンパス整備計画」に係る支出に備えた第2号基本金引当資金の他、第3号基本金引当資金を積立計上した。

以上の結果、翌年度への繰越金は、前受学生納付金を上回るが、予算執行に際しては一層の支出削減に努めたい。

I. 資金収支

1. 資金収入

(1) 学生生徒等納付金収入

学部学生授業料は、新入生270人・2年次生289人・3年次生300人・4年次生289人・5年次生298人、6年次生264人を1,800千円とし、入学金は400千円とした結果、その他と合わせ前年度比41,800千円減の3,205,400千円を計上した。

(2) 手数料収入

学部入学検定料は、センター入試を含めて97,300千円と想定し、その他の手数料と合わせ前年度と同額の112,800千円を計上した。

(3) 寄付金収入

奨学寄付金他で前年度と同額の15,000千円を計上した。

(4) 補助金収入

経常費国庫補助金は、特別補助を含め290,000千円、学術研究振興資金4,000千円、その他の補助金を合わせ合計296,100千円を計上した。

(5) 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は、前年度実績を勘案し、寮生の現員に合わせ、32,500千円を計上し、受託事業収入5,000千円と合わせ前年度同額の37,500千円を計上した。

(6) 受取利息・配当金収入

運用資金の28年度期中予想105億円を、利回り平均0.55%で運用するとして、前年度比18,000千円減の58,300千円を計上した。

(7) 雑収入

退職金財団交付金68,000千円他、合計92,000千円を計上した。

(8) その他の収入

第2号基本金引当資金（教育環境整備資金）1,000,000千円、第2号基本金引当資金（施設設備整備資金）300,000千円、減価償却引当資金400,000千円、退職給与引当資金19,000千円の繰入の他に、前期末未収入金62,000千円を加え、合計1,781,000千円を計上した。

2. 資金支出.

(1) 人件費支出

人件費は、教員 86 人と職員 46 人に加え、新設の教育研究支援職員 16 人、及び非常勤教員とアルバイト職員等の給与に退職金を合わせ、1,751,500 千円を計上した。

(2) 教育研究経費・管理経費支出

- ・教育研究経費支出：経常経費は引き続き節減に努めるが、長期実務実習関係費 224,200 千円、共用試験関係費 26,300 千円、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係費 20,000 千円、学長裁量経費 10,000 千円に加え、実験動物 S P F 化費用 15,400 千円、動物実験施設運営委託費 14,000 千円などの新規案件があるため、前年度比 2,400 千円増の 1,188,700 千円を計上した。
- ・管理経費支出：事務職員人事・給与制度構築費 5,000 千円、薬学教育評価手数料 3,500 千円他で前年度比 20,800 千円減の 279,000 千円を計上した。

(3) 施設・設備関係支出

- ・施設関係支出：新 8 号館建築費 1,711,000 千円、地域連携住吉サテライトセンター建築費 120,000 千円、ききょう記念ホール天井改修 35,000 千円、如修塾設備改修 18,000 千円、新 2 号館設計費（着手時）12,000 千円、水槽関係更新 6,000 千円他で 1,906,600 千円を計上した。
- ・設備関係支出：5 号館設備備品更新 21,000 千円、S P F 実験動物飼育設備 14,100 千円、講義収録システム 13,000 千円、10 号館玄関入退管理システム 6,300 千円、5 号館空調追加改修 3,300 千円、学校放送設備整備 2,400 千円、関係委員会選定の研究用機器費 34,000 千円、実習用機器費 4,000 千円、図書費 8,800 千円他で 139,300 千円を計上した。

(4) 資産運用支出

第 2 号基本金引当資金（教育環境整備資金）500,000 千円、第 2 号基本金引当資金（大型機器充実資金）20,000 千円、第 2 号基本金引当資金（施設設備整備資金）50,000 千円、第 3 号基本金引当資金 10,000 千円の各積立により 580,000 千円を計上した。

(5) 予備費

各科目の予備として 20,000 千円を計上した。

(6) 翌年度繰越支払資金

翌年度繰越支払資金は 485,400 千円となり、前受金収入 394,500 千円は維持できる。

II. 事業活動収支

事業活動収支については、教育活動収支差額 14,600 千円、教育活動外収支差額 58,300 千円を合わせ、経常収支差額が 72,900 千円の収入超過となり、特別収支や予備費を含めた基本金組入前の当年度収支差額が 52,900 千円の収入超過となるが、ここから基本金 1,142,800 千円を組入れた当年度収支差額は 1,089,900 千円の支出超過となる。これにより翌年度繰越収支差額が 909,200 千円の支出超過となるため、前年度以上に経費節減を進め、収支の改善に努力したい。